

営業の概況

1.業績等の概要

第20期の(株)エフエム新津取り巻く経営環境は、地域経済の回復度や公的機関からの受注減が懸念される一方で、文化会館と体育館のオープンを契機にした新規顧客獲得の好機となりました。また、隣接する南区、江南区、阿賀野市、五泉市、田上町の企業様からも、取材を通じて認知度が高まり、これが出稿につながる可能性が高まりました。

こうしたなか、より良い番組づくりはもとより、収益の向上に向けて営業努力を重ねたところではありますが、結果、営業損失3,164千円、経常損失1,050千円という決算となりました。

国内経済は、円高是正や経済政策への期待から総じて穏やかな回復基調で推移すると予測されています。そこで迎える第21期は、前期の新しい芽に着目しながら、さらに地域との密着度を高め、「使える放送局」を追い求めることで収益増を実現します。

今後とも株主各位のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

2.営業成績及び財産の状況の推移

区分 \ 年度	22 (17期)	23 (18期)	24 (19期)	25 (20期)
営業収入(千円)	51,636	61,988	48,588	44,657
当期利益(千円)	2,177	4,732	△841	△1,270
1株当たりの当期利益(円)	1,649	3,585	△637	△962
総資産(千円)	47,331	53,751	51,576	49,789